



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

◆◆◆ 「師走」から「新年」へ ～成果と課題を来年の飛躍につなげよう！～ ◆◆◆

早いもので、1年で最も長い2学期も12月を迎え、まとめの時期となりました。学校では、12月3日（火）から10日（火）の期間に教育相談を実施しました。3年生は具体的な進路決定のための面談、また1・2年生は、4月に控えている上級学年への進級を見すえ、今までの生活を振り返り、頑張った点や努力した点、またなかなかうまくいかなかった点を明らかにした上で、ご家庭と共に今後の具体的な努力目標を定めていこうとする趣旨の面談だったと思います。生徒の皆さんには、ぜひ面談の内容を踏まえ、現在の自分をしっかりと見つめた上で、「新年」の目標を立ててほしいと思います。日本には、「新年」と「新年度」の2回、このように志を立てる機会があります。「新年」の目標は、ぜひ大きな志で立ててほしいものです。そのためにも、しっかりと努力した点、頑張るべき点について自分自身の目で評価し、将来につなげていってほしいと願っています。

◆◆◆ 「世界人権デー」及び「第71回人権週間」によせて ◆◆◆

12月10日は、「世界人権デー」でした。これは、昭和23年（1948年）に国連において、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」を採択したことを記念し、昭和25年（1950年）から12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国及び関係機関が人権活動を推進するための諸行事を行うように定めたものです。世界人権宣言の第1条には、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない」と記されています。「世界人権デー」のある12月には、自分の身の回りを見つめ、改めて人権を尊重する精神を認識するよい機会としたいものです。

我が国においても、12月4日から10日までの1週間を「第71回人権週間」と定め、各種の啓発活動が実施されました。本年度も「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」という啓発活動重点目標を掲げ、右表のとおり、17の強調事項を中心に啓発活動が展開されました。

文京区教育委員会でも、12月を「いのちと人権を考える月間」として、全ての区立小・中学校でこれらを強調した取組を行っています。本校においても、全校朝会の講話や特別の教科 道徳、特別活動の時間をはじめとして、全ての教育活動を通じて人権を尊重する精神や態度を育成するように子どもたちに働き掛けてまいりました。ご家庭、地域においても、ぜひこの機会をとらえて「人権の尊重」を話題として取り上げていただき、学校とご家庭、地域の方々が手を携えていく中で、子どもたちが「互いの個性を尊重し、違いを認め合える心」の耕しをより一層推進していけるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

＜強調事項 17項目＞

- ① 女性の人権を守ろう
- ② 子どもの人権を守ろう
- ③ 高齢者の人権を守ろう
- ④ 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑤ 同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- ⑥ アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ⑫ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ⑬ ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- ⑭ 性的指向を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑮ 性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑯ 人身取引をなくそう
- ⑰ 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

◆◆◆ 六中生の活躍 ◆◆◆

先日の学校運営連絡協議会で、「生徒の活躍（夏休み以降）」として各種応募や部活動の大会、コンクールの成果について報告したところ、「広く保護者にも周知してほしい」とのご意見をいただきましたので、ここに掲載させていただきます。

今日の努力が、すぐに成果に表れるわけではありません。2000年シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト高橋尚子選手は、「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」、また、2004年アテネオリンピック男子砲丸投げ金メダリストの室伏広治選手は、「技を極めるのは、紙を毎日重ねるようなもの。しかも、紙が本物でなければならない。瞬間のひらめきや、1日や2日でできるものではない」と、努力を継続すること、あきらめない気持ちをもつことの重要性を語っています。

部活動では、これから来年夏の文京区大会、それにつながるブロック大会や都大会を目標として練習が続きますが、冬の間の地道な鍛錬が重要なことは言うまでもありません。部員全員で励まし合いながら、頑張してほしいものです。

<運動部活動>

【文京区立中学校総合体育大会】

- 野球部
優勝
- 卓球部
団体戦 Aチーム：優勝
B1チーム：第3位
個人戦 準優勝 第3位
- バドミントン部
女子団体：準優勝
男子団体：第3位
女子複：第3位×2名
1年男子単：第3位
- バスケットボール部
男子：第3位
女子：第3位
- ソフトテニス部
男子団体 第3位
- バレーボール部
女子：第4位

【文京区中学校秋季大会・新人大会】

- 野球部
準優勝
- ソフトテニス部
男子団体：第5位
- バレーボール部
第6位（ブロック大会出場）
- 卓球部
男子団体：ベスト8
男子単：第3位
（都大会・城北大会出場）
ベスト16×2名（都大会出場）
男子複：準優勝
（城北大会出場）
ベスト8（城北大会出場）



<文化部活動、各種応募等>

【東京都中学校吹奏楽コンクール】

- ・ 吹奏楽部
銅賞

【文京区立中学校読書感想文コンクール】

- ・ 優秀賞：6名

【税についての作文】

- ・ 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞
- ・ 東京税理士会本郷支部 支部長賞
- ・ 一般社団法人本郷青色申告会 会長賞
- ・ 本郷彰友会 会長賞
- ・ 文京区長賞

【税についての標語】

- ・ 本郷間税会長賞（秀作）
- ・ 本郷間税会長賞（入選）

◆◆◆ 今年の世相を表す漢字一字は「令」 ◆◆◆

公益財団法人日本漢字能力検定協会は、広く漢字の奥深さと意義を再認識するための活動の一環として、毎年年末に今年一年の世相を表す漢字一字とその理由を全国から募集し、最も応募数の多かった漢字を京都・清水寺の森清範貫主の揮毫（きごう）により発表しています。

本年も、11月1日（金）から12月5日（木）までの期間、今年の世相を表す漢字一字とその理由を全国から募集した結果、216,325票の応募があり、「令」が30,427票（14.07%）を集めて1位となりました。令（レイ）には、①いいつける。命じる。いいつけ。②のり。きまり。おきて。③おさ。長官。④よい。りっぱな。⑤他人の親族に対する敬称。などの意味があるそうです。

今年は、新元号「令和」に新たな時代の希望を感じた一年でした。「令」和が日本最古の歌集・万葉集からの出典で、日本の伝統文化の素晴らしさを再認識する機会となるとともに、海外に「Beautiful Harmony＝美しい調和」と説明されたことや、「令」の字がもつ「きまり」「おきて」という意味にも注目が集まりました。

「令和」の考案者と目される国文学者・中西進氏は、「辞書を引くと、『令』とは善のことだと書いてあります。つまり、『令』の原義は善です。品格のあること、尊敬を受けること。そういう意味での『よいこと』が『令』です。そして、『令』に一番近い日本語は何かといえば、『うるわしい』という言葉です」と述べています。

第六中学校の教育目標の一つに「美しい生活を求める」ということがあります。また、校歌は、「うるわしく」で始まります。特に、きちんと整った「美しさ」が「うるわしい」と表現されるそうです。未来にはばたく「令和」の時代に、六中生の皆さんにもぜひ「よいこと」に「品格」や「尊敬」を加えることによって、一段上のステップの「うるわしい」を目指していくことを意識して日々の生活に臨んでいってほしいと思います。

◆◆◆ お詫びと訂正 ◆◆◆

前号で紹介したラグビーワールドカップ日本代表選手団の「ONE TEAMで戦った～桜31人の言葉～」のうち、No.8の姫野和樹選手のコメントが抜け落ちていました。ここにお詫びを申し上げるとともに、正しいコメントを掲載させていただきます。大変申し訳ございませんでした。

区分	出場した試合					位置	氏名 (敬称略)	コメント
	R U S	I R L	S A M	S C O	R S A			
FW	○	○	○	○	○	FL No.8	姫野 和樹	自分の強みを出せた、いい大会だった。ベスト8という目標も達成した。しかし、ここが終わりではない。4年後は優勝を狙わないといけない。チームとしても、個人としても、もっとレベルアップしないといけない。



今年の漢字一字
「ベスト20」

順	一字	得票数 割合
1	令	30,427 14.07%
2	新	14,850 6.86%
3	和	10,281 4.75%
4	変	7,749 3.58%
5	災	7,302 3.38%
6	嵐	7,029 3.25%
7	水	6,247 2.89%
8	風	5,996 2.77%
9	天	5,101 2.36%
10	税	4,142 1.91%
11	雨	3,452 1.60%
12	一	2,877 1.33%
13	台	2,401 1.11%
14	結	1,952 0.90%
15	闘	1,935 0.89%
16	改	1,919 0.89%
17	火	1,843 0.85%
18	桜	1,777 0.82%
19	薬	1,741 0.80%
20	皇	1,581 0.73%

◆◆◆ Welcome! 東京大学特別研究学生 ローラさん ◆◆◆

本校の学校関係者評価委員をお願いしている東京大学大学院教育学研究科比較教育社会学コース教授 中村 高康 先生からの協力依頼で、9月中旬から約3か月間、オーストラリアと東京大学との特別研究学生であるグレゴリー・ウィリアム・マーシャルさんにお越しいただき、英語の授業の指導補助をしていただきました。生徒の皆さんもマーシャルさんとの交流を通じて、良き思い出づくりができたことでしょう。

今回、同様の趣旨により、12月中旬よりフランスのエコールノルマルシュペリール高等師範学校の大学院生で、東京大学の特別研究学生として来日しているローラ・セーブさんを受け入れることになりました。

ローラさんは、マーシャルさんから六中での学校生活の様子を聞き、自分もぜひ体験してみたいと思ったそうです。

本校には、基本的には火曜日と木曜日にお越しいただく予定です。英語が堪能なので、今後、授業に入っていただくことで、互いに大きなメリットが期待できます。

東京大学における研究活動と並行して本校にまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



self-introduction 【自己紹介】

Hello everybody, nice to meet you! My name is Laure Sève, I'm from France. You can call me Laure! I have graduated from the Ecole normale supérieure in Paris and I am now a Special Research Student at the University of Tokyo.

I heard that Japanese people have the image of France as a country where people walk around carrying a "baguette". My image of Japan was rice: when I was a kid, I used to say I wanted to live in Japan so that I could eat rice every day. When I had the chance two years ago, I started studying Japanese and decided to come to Japan to learn about the Japanese society. Since October, I can eat Japanese rice every day so I am very happy because I think it is the best rice in the world!

Last year, I spent some time in French middle schools for research purposes and I found talking with students and sharing their life experience very enriching. I think that middle school is a very important moment in one's life. I am very happy to be able to spend time with the teachers and the students in 第六中学校 and I hope we can learn from each other. So please do not hesitate to talk to

みなさん、こんにちは。はじめまして。私はローラ・セーブです。ローラと呼んでください。フランス出身です。パリ高等師範学校を卒業して、東京大学の特別研究生として日本に来ました。

日本人が、フランスの人はフランスパンを街中で抱えているイメージをもっている聞いたことがあります。逆に、私は日本にお米のイメージがありました。子どものとき、日本で毎日お米を食べて暮らしたいと言っていました。二年前、日本語を勉強し始めて、日本の社会について学ぶために日本に来ることを決めました。今年の10月から毎日、日本のお米を食べられるようになったので、とても嬉しいです。世界で一番美味しいと思っています。

去年、調査のためにフランスの中学校にいたとき、生徒たちと一緒に話し、生徒たちの生活について教えてもらい、すごく有意義な時間をもつことができました。中学校時代は、人生のなかで、とても大切な時間だと思っています。第六中学校の先生と生徒たちと時間を過ごし、いろいろなことを学び合うことができれば、とても嬉しいです。どんなことでも、ぜひ遠慮なく私に質問をしたり、話しかけたりしてくれると嬉しいです！よろしくお願い申し上げます。